

洋風洗落し便器

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
注意 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

注意

- 陶器は割れものです。
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。 **指示実行**
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。 **指示実行**
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。 **指示実行**

施工前の注意

- フラッシュバルブ仕様、タンク仕様ではそれぞれ排水芯が異なります。
- フラッシュバルブ仕様、タンク仕様では、それぞれ給水位置、給水管径が異なります。

各部のなまえ



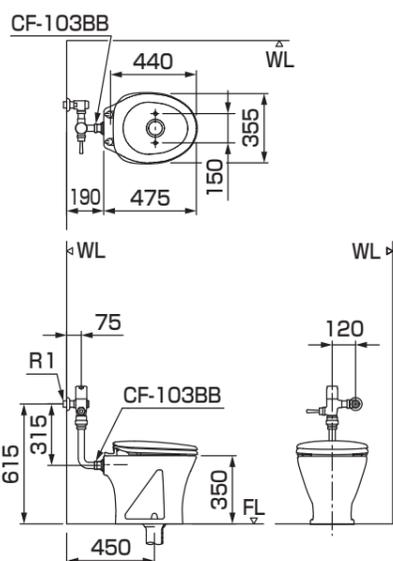
部品の確認 (梱包内容を確認してください)



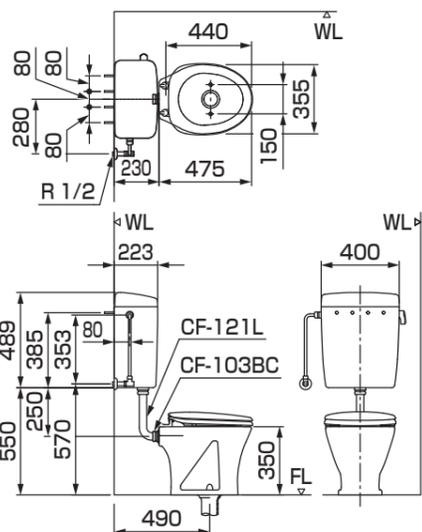
※ フランジは同梱しておりません。排水管の種類に応じて別途手配してください。

完成図

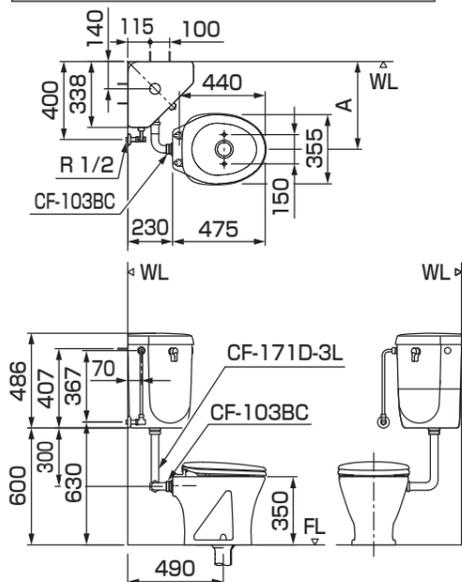
フラッシュバルブの場合



平付タンク仕様の場合



隅付タンク仕様の場合



■ 隅付ロータンクを組み合わせる場合は、下表を参照のうえトイレスペースに合わせて洗浄管をお選びください。

使用上の動作	洗浄管品番	洗浄管横引き長さ	A寸法
標準寸法	CF-171D-3L	265+30 -0	400
余裕のある寸法	CF-171D-3L(365)	365+30 -0	500
余裕のある寸法	CF-171D-3L(465)	465+30 -0	600

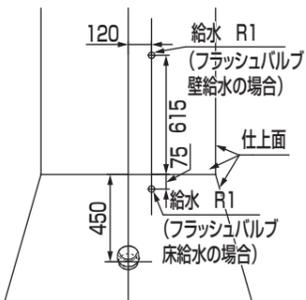
施工方法

1 給排水の位置決めと取出し

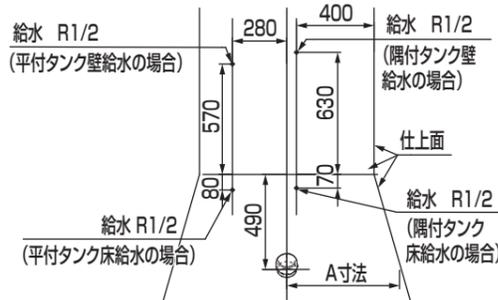
排水管、給水管を取り出します。
※ フラッシュバルブ仕様とタンク仕様で排水位置が異なりますのでご注意ください。

注意 1 参照

フラッシュバルブの場合



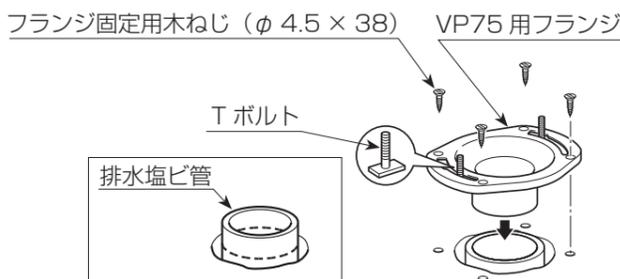
隅付タンク・平付タンク仕様の場合



2 フランジの固定 (フランジは別途手配)

《樹脂フランジの場合》

- 排水塩ビ管を床と平行に切断します。
VP75, VU75, VP100, VU100 : 床仕上面 **注意 2 参照**
- 樹脂フランジに T ボルトを差し込み、排水塩ビ管と樹脂フランジの密着部をきれいにし、両方に塩ビ管用接着剤を塗って接着します。
- フランジ固定用木ねじで樹脂フランジを床に固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴 (径 7.5、深さ 55) あけ、別売の AY ボルト (AY-2) を使用します。
※ 4 個の取付穴は後壁面と平行にしてください。 **注意 3 参照**



注意 1

- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
- 給水管はぐらつきのないように、しっかりと固定してください。

注意 2

排水管は、切断面が床と平行になるように切断してください。
※ 切断位置が正確でないと漏水、臭気発生の原因になります。

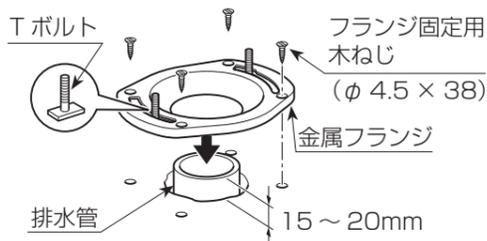
注意 3

排水塩ビ管と VP75 用フランジまたは各サイズのアダプターの接着は、確実に行ってください。
● すき間、ガタがある場合はコーキング剤を使用してシール接着してください。
※ 接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

《金属フランジの場合》

- (1) 排水管を床仕上面上 15 ~ 20mm 確保して切断します。
※ フランジの取付けは必ず床仕上面上に行ってください。
注意 2 参照
- (2) 金属フランジのテーバー部分が床の中に入るように排水管周囲をはつります。
注意 4 参照
- (3) T ボルトを金属フランジの背面から通し、フランジ固定用木ねじで金属フランジを取り付けます。
※ コンクリート床の場合はAYボルト(AY-2)を別途手配してください。この場合、あらかじめ下穴(径 7.5、深さ 55)をあけてください。
※ 4 個の取付穴は後壁面と平行にしてください。

- (4) 排水管をテーバー面に沿って亀裂、破損させないようにツバを広げします。
※ 十分ツバ広げできない場合は、シールが不完全になる恐れがありますので、金属フランジと排水管のツバ部をハンダ付けしてください。



3 ガasketの取付け

別途手配のフランジと同梱しているガスケット(WG-14F)を便器の排水口に取り付けます。



※ 必ずガスケットを便器の排水口側に取付けてください。フランジ側に付けるとはみ出して、詰まりの原因になることがあります。

注意 5 参照

4 便器の取付け

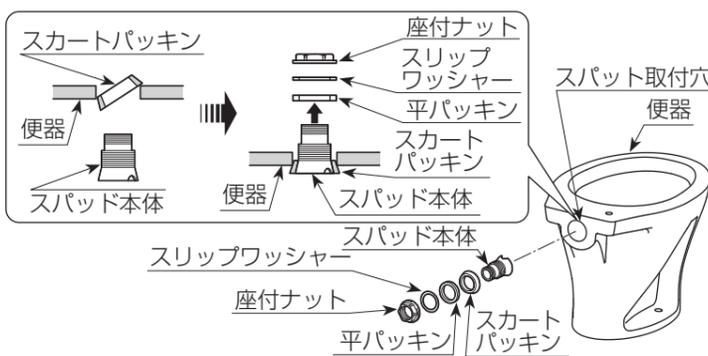
便器を床に取り付けます。

注意 6 参照



5 スパッドの取付け

- (1) 別途手配の径違スパッドのスパッド本体を便器のスパッド取付穴に入れ、スカートパッキンをスパッド本体にかぶせます。
- (2) スカートパッキンを挟み込みながらスパッド本体を持ち上げ、平パッキン、スリップワッシャー、座付ナットの順に入れ、締め付けます。
※ 径違スパッド品番
・フラッシュバルブ仕様の場合：CF-103BB
・タンク仕様の場合：CF-103BC

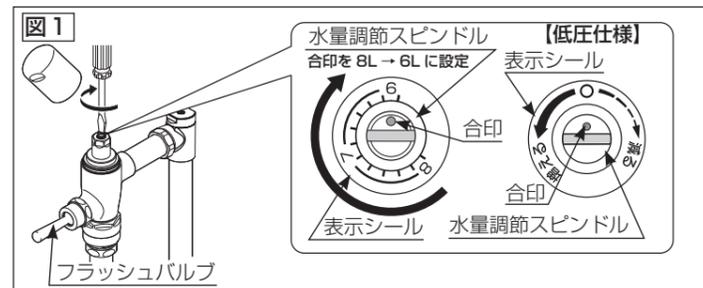


6 フラッシュバルブの取付け・洗浄水量の調節・水勢の確認

※タンク仕様の場合は、便器鉢内に貼られている水勢調整シールをはがしてください。(図3参照) **注意 7 参照** **注意 8 参照**
フラッシュバルブに同梱されている施工説明書にしたがって、フラッシュバルブを取り付けます。

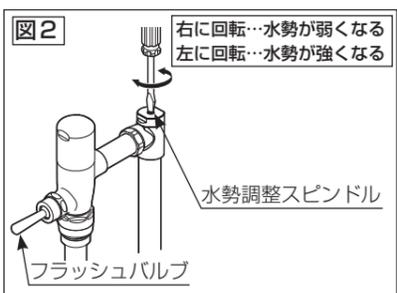
《洗浄水量の調整》

図1のように、フラッシュバルブの化粧キャップを外し、表示シールを見ながら水量調節スピンドルをマイナスドライバーで回し、合印を8L→6Lに設定します。(出荷時は合印が8Lに設定されています。) 低圧フラッシュバルブの場合は約8Lに設定してありますので、このままご使用ください。



《水勢の確認》

- (1) 図2の状態ドライバーを右に回転させて、水勢調整スピンドルが閉まっていることを確認します。
- (2) ハンドル操作を繰り返しながら、水勢調整スピンドルを開けます。
※ 一度ハンドルを押しそのまま押しつづけると、水は止まってしまいます。数回ハンドル操作をしてください。
- (3) 使用場所の水圧、配管条件により水勢が変化しますので、図3を参考に、水勢を確認してください。水勢確認時は、他の器具を同時使用しないでください。



水勢の確認が不十分な場合、洗浄不良、洗浄飛沫の原因になります。

※ 最大水位が図3のマーカ一部を超える場合は、水位がマーカ内に入るように水勢調整スピンドルを回して調整してください。

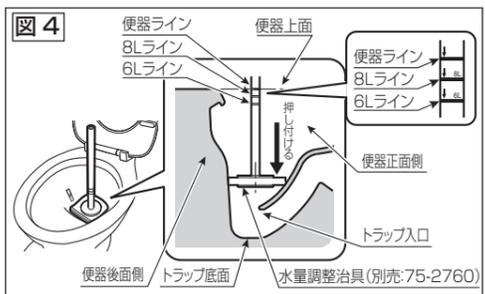
※ 最大水位が図3のマーカ一部の高さに達しない場合は、現場の給水圧力をご確認ください。
※ 給水圧力が0.07MPa(流動圧)以上、0.1MPa(流動圧)未満の場合は、洗浄水量を8Lに設定してご使用ください。
※ 給水圧力が0.05MPa(流動圧)以上、0.07MPa(流動圧)未満の場合は、現場の水圧不足が考えられます。低圧フラッシュバルブに器具交換し、水勢調整スピンドルを全開にしてご使用ください。

- (4) 水勢確認後、シールをはがします。 **参考 1 参照**

《洗浄水量の確認方法》

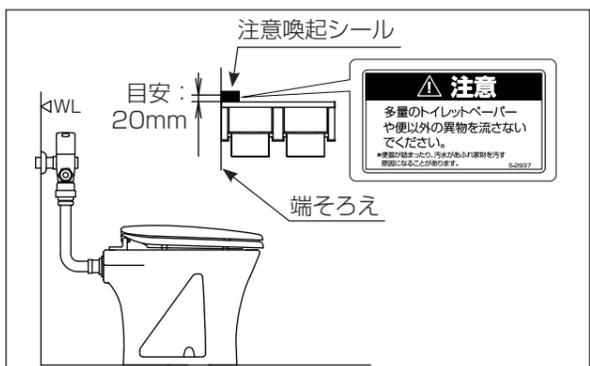
別売りの水量調整治具(75-2760)を使用することで、正確な水量に調整することができます。

- (1) 便器内の水をすべて抜きます。
- (2) 水量調整治具を、図4のように便器上面と治具の便器ラインに合わせるように、便器のトラップ入口をふさぐように押し付けます。
- (3) 洗浄動作を行い、水位が6Lラインになるように調整します。
※ 洗浄水量を8Lでご使用の場合は、水位が8Lラインになるように調整します。



7 施工後の確認

- (1) フラッシュバルブを操作して便器鉢内を洗浄し、各接続部に漏水がなく、鉢内洗浄が良好であることを確認します。
※ 排水接続部の漏水点検は、数回繰り返して水を流さない確認が困難な場合があります。
- (2) 鉢内洗浄の良否は、長さ760mmのトイレトペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の操作で排出できることを確認します。
- (3) 施工説明書に同梱の注意喚起シールを紙巻器上の壁面に張ります。



注意 4

金属フランジの取付けは、必ず床仕上面上に行ってください。

注意 5

- 排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取除いてください。
- シール材は便器の底面および側面にしっかりと密着させてください。

注意 6

陶器に対するねじは締め過ぎないようにしてください。
※ 陶器が割れる恐れがあります。

注意 7

- フラッシュバルブを取り付ける前に、必ず給水管内のゴミ・砂などを完全に洗い流してください。
- 各接続部は、漏水がないように確実に接続してください。

注意 8

<タンクの取付>
タンクに同梱されている施工説明書にしたがって、タンクを取り付けます。
※ タンクの場合、水勢確認を行う必要はありません。シールをはがしてください。

参考 1

シールをはがした後に、再調整を行う場合は、下図を参考に便器中央より左側、トラップ入口部にメジャーなどをあてます。洗浄中の最大水位がトラップ底面から180~210mmの範囲内にあることを確認してください。

